



## 8月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園  
2022年 8月1日

### \*保育目標 反省 すみません\*

- ・「ごめんなさい」「ありがとう」が、素直にいえる。
- ・夏の遊びを積極的に取り組み、楽しさを発見する。



### 【法話】

#### 「お盆」

今年は、最短最速の梅雨明けで、7月の日中は、30℃越えの真夏日・猛暑日の日が続きました。新型コロナも再増加傾向のため、マスクも離せず、熱中症の危険が高いため、水分・塩分補給、温度、休養管理の熱中症対策で、夏を乗り越えてくださいますようお願いいたします。

日本の夏には、昔から全国的に「お盆」があります。各地で色々な風習・伝統行事がありますが、本来の「お盆」は、インドの「ウランバーナ」という言葉が、漢字の「うらぼん盂蘭盆」にあてはめられ、短く略されたもので、意識すると「げとうけん解倒懸」という意味です。「倒懸」とは、さかさまにつるされることで、大変苦しい状態です。その苦しみから解かれ救われるのが、「解倒懸」です。お釈迦さまの十大弟子のお一人である

もくれんそんじゃもくれんそんじゃ目蓮尊者、そのお母さんが、仏法によって、餓鬼道の苦しみから救われたという話に基づいています。「倒懸」の状態にあるのは、この私です。さかさまをさかさま知らず、苦しみを苦しみと知らない私に、迷いを迷いと教示してくれるのが、お盆の行事です。

「お盆に先祖の霊が帰ってくる」というような俗信迷信に振り回されず、お盆には、先祖も私も共に、「倒懸(さかさま)」の苦しみ迷いから救われていく、仏教・お念仏の教えを、感謝の気持ちのなかで、聞かせていただきますよう。合掌今年、梅雨入り梅雨明けが早く、7月の日中は、30℃越えの真夏日・猛暑日の日が続いています。新型コロナのため、マスク着用ですから、熱中症の危険が高いため、水分・塩分補給、温度、休養管理の熱中症対策で、夏を乗り越えて頂きたいです。

合掌



### 今月の行事予定

8・22・29日 礼拝

未満児オンライン参観日 6日～15日

特別保育 12日～16日(申し込み 8/3まで)

発育測定(17日 ほし・いちご 18日 もも・うさぎ  
19日 あひる・ひよこ)

9日 避難訓練 20日 交通教室

22日 クッキー作り 23日 誕生会 31日奉仕作業



### 「2, 3 歳児の外遊び」

毎日危険な暑さが続いていて、熱中アラーム温度計が鳴り響いています。外遊びは、どの子どもにとっても楽しみの一つですが、なかなか思い通りにできない毎日が続いています。朝の9時までか、または園舎の日陰になる夕方5時以降が園庭で遊べる唯一の時間です。今までは、以上児のみがそのすべての時間を優先的に使っていました。7月からは、うさぎ・もも組の子どもたちも、週2回外遊びができる日を設けました。

お迎えまでのほんの短い時間ですが、水筒を持って、園庭に向かううさぎ組さんは微笑ましい姿を見せてくれます。おやつを食べてお片づけをしてトイレに行く時間の早いこと。「〇〇先生どこかね？」と尋ねると、「僕たちと一緒に外で遊んでいるんよ！」と得意そう。もも組さんが三輪車に乗る姿をじっと見て観察し、同じように引っ張り出している姿の逞しいこと。また、それを助けようと手を貸してくれるもも組の小さなお兄さんお姉さんたちの、下から覗き込むように話しかける優しい言葉かけがあつてのこと。少し前、ほし組・いちご組の大きなお兄さんお姉さんからいただいた優しさの仕草でした。異年齢保育の良さは、4, 5 歳児だけのことではなく、2, 3 歳児の中でも心の育ちを促してくれています。この優しさを今度は、1 歳・0歳のお友達につないでくれるのかな？



### お知らせ

- ・8, 9 月は、将来保育士を目指される実習生、保育体験やアルバイトの学生さんが保育室に入られることがあります。必ず一人にはならないようにいたします。
- ・お盆前後は、特別保育にさせていただきます。保育士の心と体を守るため、働き方改革も受けて、年間を通じて利用者の少ない時期を限定して、保育士がお休みをいただくようにしています。お盆、年末年始、年度末のお忙しい時期となりますが、どうかご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。